

簡単

新高校学習指導要領 解説！

新学習指導要領が導入される背景

グローバル化や科学技術の発展が進み、少し前の私たちには想像もできなかった社会となりました。激変する社会は、今後も進化すると予想されています。

今後は、科学技術の発展により「多くの仕事が自動化される」「将来、今の段階では存在していない仕事に就く」ことなどが予想されています。社会だけではなく、私たちの生活も大きく変わると言われています。

現在のように激しく変化する社会では、先のことを予測することが困難とされ、大きな変化に対応する力が必要になります。それだけでなく、自分の感性をもとに人生を豊かにする能力も期待されます。各時代に応じて社会に活かす教育が求められるため、教育基準も変更する必要に迫られているのです。

子供たちが激しく変化する社会に対応する能力を育てるために、新学習指導要領が導入されています。



新学習指導要領の3つの柱

まずは新しい指導要領の基本の考え方ですが、大きく3つの柱を立てています。

1. 学びに向かう力・人間性の育成（学んだことを社会で活かす）
2. 知識・技能の習得（社会で生きて働く）
3. 思考力・判断力・表現力（未知のことにも対応できる）

この3つとしていますが、イメージが湧きにくいですね・・・

ポイントは「子どもたちが自分で未来を切りひらいていけるように、生きていくための資質・能力を育てていく」ため新しい基準を設けるといったものです。

まずはなにが変わるのか科目ごとに実際に見てみましょう！！

学習指導要領 変更科目一覧

教科	現行の科目	新科目
国語	国語総合	現代の国語
	国語表現	言語文化
	現代文A	論理国語
	現代文B	文学国語
	古典A	国語表現
	古典B	古典探究
数学	数学Ⅰ	数学Ⅰ
	数学Ⅱ	数学Ⅱ
	数学Ⅲ	数学Ⅲ
	数学A	数学A
	数学B	数学B
	数学活用	数学C
理科	科学と人間生活	科学と人間生活
	物理基礎	物理基礎
	物理	物理
	化学基礎	化学基礎
	化学	化学
	生物基礎	生物基礎
	生物	生物
	地学基礎	地学基礎
	地学	地学
理科課題研究		
地理・歴史・公民	世界史A	歴史総合
	世界史B	世界史探究
	日本史A	日本史探究
	日本史B	地理総合
	地理A	地理探究
	地理B	公共
	現代社会	倫理
	倫理	政治・経済
	政治・経済	
外国語	コミュニケーション英語基礎	英語コミュニケーションⅠ
	コミュニケーション英語Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ
	コミュニケーション英語Ⅱ	英語コミュニケーションⅢ
	コミュニケーション英語Ⅲ	論理・表現Ⅰ
	英語表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ
	英語表現Ⅱ	論理・表現Ⅲ
	英語会話	

教科	現行の科目	新科目
芸術	音楽Ⅰ	変更なし
	音楽Ⅱ	
	音楽Ⅲ	
	美術Ⅰ	
	美術Ⅱ	
	美術Ⅲ	
	工芸Ⅰ	
	工芸Ⅱ	
	工芸Ⅲ	
	書道Ⅰ	
書道Ⅱ		
書道Ⅲ		
保健体育	保健	変更なし
	体育	
家庭	家庭基礎	家庭基礎
	家庭総合	家庭総合
	生活デザイン	
情報	社会と情報	情報Ⅰ
	情報の科学	情報Ⅱ
理数		理数探究基礎
		理数探究
総合的な探究の時間	総合的な学習の時間	総合的な探究の時間

高校の新学習指導要領 英語について

小学校～高校までに習得する英単語数の増加

高校終了までに学習する単語数

新制度のカリキュラムでは高校卒業までに習得すべき英単語が小学校では 600～700 語、中学校では 1600～1800 語。そして今回の高校生は、1800～2500 語に増えます！！



高校終了段階までに習得する単語数は、現行学習指導要領では約 3000 語だったものが、**合計 4000~5000 語までに増加していること**になります。

また具体的な目標として、**英検で 2 級程度の力**を身につけることを目指しています。

英語の 4 技能からさらに細かな 5 領域も育成

英語の 4 技能 5 領域とは・・・

中学生までは英語の 4 技能「聞く」「書く」「読む」「話す」を育む教育が行われていますが、高校ではさらに英語の 5 領域も総合的に扱う授業が行われるようになります。



英語の 5 領域では、「聞く」「書く」「読む」に加えて、「**話す〔やり取り〕**」・「**話す〔発表〕**」という形で「**話す**」は**2 種類に細分化**されます。

「英語コミュニケーション」で、英語の 4 技能 5 領域をまんべんなく学ぶことになります。

「英語コミュニケーション」には文法や長文読解なども含まれます。

一方、「論理・表現」では「話す〔やり取り〕」・「話す〔発表〕」をメインに、発信力を鍛えます。具体的には、プレゼンやディベートなど、意見を交わしながら、**自分の考えを英語で話す力を養うようになります。**

苦手な生徒も多い分野ですが、これら求められる力の一つとして重要視されています！

高校の新学習指導要領 数学について

数学Ⅲ・数学 B・数学活用の一部を移行した、**数学 C** が新設

新設といいつつも、2011 年度までは**数学 C** が入っていたため、耳にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。今回復活する**数学 C** では・・・

数学 B で扱っていた「ベクトル」

数学Ⅲで扱っていた「平面上の曲線と複素数平面」

数学活用で扱っていた「**数学的な表現の工夫**」（統計グラフや離散グラフ、図など）

が扱われることになります。

まとめると、数学活用はなくなり、数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学Cの6分野に戻るといことになります。

数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・
数学A・数学B・数学C
全部まとめて・・・頑張る！

がんばるぞぉ!!



ただ、2011年度まで行われていた数学Cが戻ってくるわけではなく、学習する単元は異なることに注意が必要です。また、2025年度からの大学入学共通テストでは国立大学文系学部を受験生も、数学Cの受験が必須になってきます。やるべきことが増えそうですね!?

高校の新学習指導要領 社会について

地歴の必修修科目として「地理総合」・「歴史総合」が新設
これまでの地理・歴史では

「世界史A」、「世界史B」のうちから1科目選択
「日本史A」、「日本史B」、「地理A」、「地理B」から1科目選択

この合計2科目を必修修としていました。

2022年度からは、A・Bといった構成が廃止され、「地理総合」「歴史総合」を新設、必修修科目として設定しています。

さらに発展的な学習科目として「地理探求」「日本史探求」「世界史探求」も新設されました。

公民に必修修科目として「公共」が新設

公民はこれまで「現代社会」「倫理」「政治・経済」の中で1科目を必修修として設定していました。2022年度からは、「現代社会」がなくなり、新しく「公共」が加わりました。さらに必修修科目は「公共」となり、「政治・経済」「倫理」が選択科目になりました。

高校の新学習指導要領 情報について

「情報Ⅰ」が必修科目として新設

これまでは「社会と情報」「情報の科学」が必修科目となっていました。2022年度からは再編され新たに「情報Ⅰ」が必修科目として設定されました。

さらに選択科目として「情報Ⅱ」も新設。

内容としては、プログラミングに関するものが多くなりました。

ガーン！



情報が大学入学共通テストに追加

2025年度大学入試から「情報」が大学入学共通テストに追加されます。

ちなみに2025年度の大学入試とは2025年1月に実施される入試です。

つまり2022年度に入学した高校1年生が対象となる入試です。

これまで大学入学共通テストは、「国語」「地理歴史」「公民」「数学」「理科」「外国語」の6教科30科目でしたが、新たに2025年度入試にて「情報」が加わり7教科21科目に改革される予定です。

まとめ

いかがだったでしょうか！？細かく上げればまだまだ変更点があります。しかし、今回の新学習指導要領の導入は先にも述べたように、子供たちが今後の激変する社会を生きていくために必要な力をつけていくためのものです。必要だからこそ、嘆くのではなくどうすれば身につくかを考えて対策する必要がありますね！！

